



## News Release

## FP 資格取得がキャリアアップや営業成績向上に有効であることが明らかに

## ～「金融機関勤務者のFP 資格活用実態調査」結果～

日本FP協会(所在地 東京都港区、理事長 白根壽晴)は、2026年1月16日～2月12日の期間で、金融機関(銀行・保険・証券)従事者かつFP資格(CFP®資格、AFP資格、2級FP技能士)保有者を対象にインターネット調査を実施しました。

調査の結果、FPの上級資格であるCFP®資格の取得が業務遂行力やキャリアアップ、給与、営業成績において他のFP資格を大きく上回る成果を出しており、資格取得の難易度が上がるごとに、業務面のみならず私生活の面でも有用性を実感していることがわかりました。また、CFP®資格は他のFP資格と比較して他者への推奨意欲が突出して高いものの、企業の資格取得の支援が少なく、企業側が上位資格への取得支援策を強化することは、業務面でポジティブな効果を生むことが期待できるとわかりました。

## 調査結果の概要

<b>Topic1 CFP®資格取得は、業務・キャリア・給与や営業成績において高い成果をもたらす</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆CFP®認定者の約7割が、【業務遂行力】や【キャリアアップ】といった仕事面のみならず、【私生活の満足度】や【有用性の実感度】といった広範な指標において肯定的な回答をしている。</li> <li>◆FP資格取得後の営業成績向上については、2級FP技能士(21.0%)、AFP資格(26.1%)、CFP®資格(36.6%)と、資格取得の難易度が上がるごとにその効果も高まっている。</li> </ul>
<b>Topic2 FP資格のステップアップは「自分」→「他者」→「人生」と価値範囲の拡大化をもたらす</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆FP資格取得の難易度が上がるごとに、FP資格の有用性を実感するスコアも上昇する。 [2級FP技能士(48.1%)、AFP資格(50.7%)、CFP®資格(78.2%)]</li> <li>◆CFP®資格の有用性についての自由回答では「不可欠」「人生」といったキーワードが見られ、自己研鑽から始まった学びが、単なる仕事のツールを超えて、最終的には自身の生き方への自信につながっていることがうかがえる。</li> </ul>
<b>Topic3 業種で異なるFP資格活用状況</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆FP資格の活用状況や資格に対する意識に、業種(銀行・保険・証券)ごとの特徴がみられた。 (銀行は「自己研鑽意識の高さ」、保険は「業務上での重要性の高さ」、証券は「FP知識の専門性の追求」)</li> </ul>
<b>Topic4 FP資格取得者のFP資格推奨度と、企業のFP資格取得支援のギャップ</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆FP資格を保有していない人への推奨意欲はCFP®資格が67.8%と突出して高いが、所属する企業のFP資格取得の奨励度は2級FP技能士が70.8%と最も推奨されており、CFP®資格は50.7%にとどまる。</li> <li>◆企業側は基礎資格の取得支援にとどまらず、上位資格への取得支援を強化することで、業務面でのポジティブな効果を生むことが期待できる。</li> </ul>

※FP資格の概要や調査結果の詳細については別紙をご覧ください。

## ◆本リリースに関するお問い合わせ先

担当	日本FP協会 広報部広報課 福嶋	TEL 03-5403-9726	FAX 03-5403-9795	E-mail info@jafp.or.jp
----	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------------

※ CFP®、AFP®、CERTIFIED FINANCIAL PLANNER®、およびサーティファイド ファイナンシャル プランナー®は、米国外においては Financial Planning Standards Board Ltd.(FPSB)の登録商標で、FPSB とのライセンス契約の下に、日本国内においては日本FP協会が商標の使用を認めています。

※AFP、AFFILIATED FINANCIAL PLANNER およびアフィリエイトッド ファイナンシャル プランナーは、NPO 法人日本FP協会の登録商標です。

## NPO 法人 日本FP協会


<本部事務所> 〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-28 虎ノ門タワーズオフィス5F

<大阪事務所> 〒530-0004 大阪府大阪市北区堂島浜1-4-19 関電不動産堂島浜ビル5F




FP 資格の概要

FP資格には、日本FP協会が認定する「CFP®資格」(FPの上級資格)および「AFP資格」と、国家検定である「FP技能士」(1～3級)があります。



**CFP®資格**

2026年4月現在、世界29カ国・地域で導入されている「世界が認めるプロフェッショナルFPの証」で、FP資格の頂点とも言える資格です(国際ライセンス)。2年ごとの資格更新に所定の継続教育が義務付けられています。



**AFP 資格**

2級FP技能検定の合格とAFP認定研修の修了といった要件を満たし、日本FP協会へ登録することで、付与される資格です。CFP®資格と同様に2年ごとの資格更新に所定の継続教育が義務付けられています。

**FP技能検定**

1級、2級、3級の等級があり、それぞれに学科試験と実技試験が設けられています。学科試験と実技試験の両方に合格すると等級ごとに「ファイナンシャル・プランニング技能士」と名乗ることができます。数字が小さくなるほどFP知識の専門性が高まり、難易度が上がります。

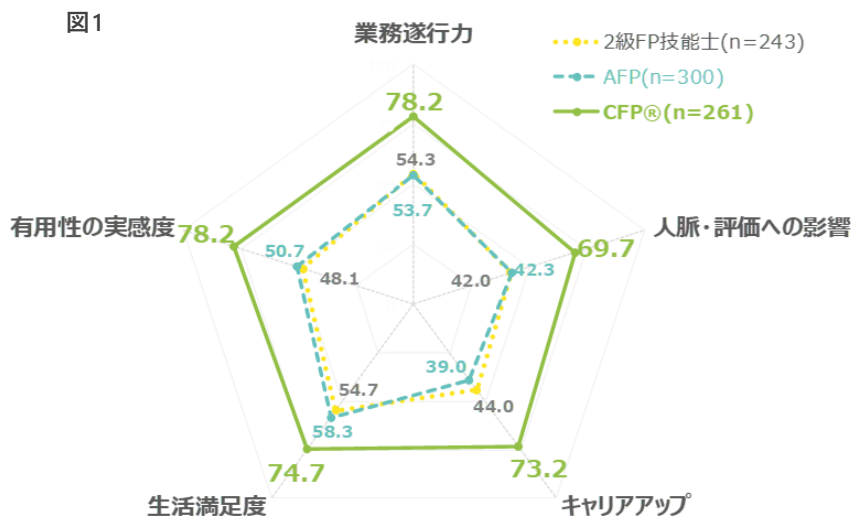
詳細は「FPの資格と検定の種類」をご覧ください。

<https://www.jafp.or.jp/aim/fpshikaku/kind/>

調査結果の詳細

Topic1 CFP®資格取得は、業務・キャリア・給与や営業成績において高い成果をもたらす

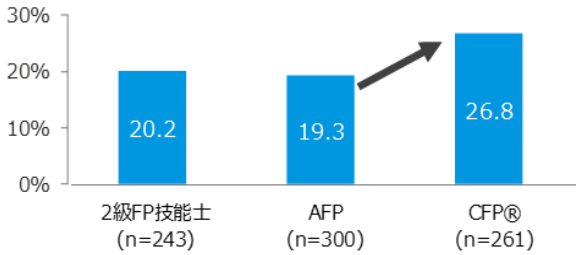
- CFP®認定者の約7割が、【業務遂行力】や【キャリアアップ】といった仕事面のみならず、【生活満足度】や【有用性の実感度】といった広範な指標において肯定的な回答をしている。CFP®資格はいずれの項目でもAFP資格や2級FP技能士のスコアを大きく上回り、上位資格としての優位性が表れている。(図1)
- CFP®資格は、給与や営業成績といった実利の点において、AFP資格や2級FP技能士を大きく上回る。(図2)
- 【生活満足度】についてはCFP®資格が最も高い(74.7%)一方で、2級FP技能士(54.7%)やAFP資格(58.3%)でも半数以上が肯定的に回答しており、資格間でのスコア差が他の項目に比べて最も小さい。資格のレベルを問わず、FP資格の取得自体が生活において一定の満足感をもたらすことが示唆される。(図1)



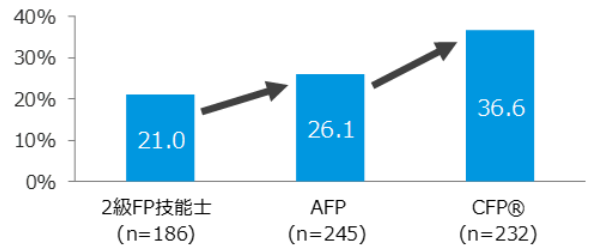
業務遂行力：Q1 総合的にみて、【仕事での業務遂行】に資格が良い影響を与えている＝「そう思う」＋「ややそう思う」の割合  
 人脈・評価への影響：Q 総合的にみて、【仕事での人脈・評価】に資格が良い影響を与えている＝「そう思う」＋「ややそう思う」の割合  
 キャリアアップ：Q 総合的にみて、【キャリア】に資格が良い影響を与えている＝「そう思う」＋「ややそう思う」の割合  
 生活満足度：Q あなたは、現在の生活にどの程度満足していますか。0（まったく満足していない）から 10（とても満足している）の間であてはまる数字をお選びください。＝「6点」～「10点」の割合  
 有用性の実感度：Q F P 資格の保有者として、仕事や私生活を含む全体的な観点から、この資格は有用だと思いますか。＝「有用である」＋「やや有用である」の割合

図2

Q. F P 資格の資格取得は、あなたの給与にどのような影響を与えましたか。  
※「増えた」と回答した割合



Q. F P 資格を取得したことで、営業成績に変化はありましたか。  
※「上がった」と回答した割合



### Topic2 FP 資格のステップアップは「自分」→「他者」→「人生」と価値範囲の拡大化をもたらす

■ 資格の有用性の実感度は 2 級 FP 技能士 (48.1%)、AFP 資格 (50.7%)、CFP® 資格 (78.2%) と、資格の難易度が上がるごとにスコアも上回る。(図 3)

■ 自由回答より、有用性を感じる背景には、各段階で明確な特徴がみられる。2 級 FP 技能士は自身のスキルアップを目的とした「自己の基盤構築」が中心だが、AFP 資格では「他者への貢献」(顧客の信頼や家族のライフプラン)へと視座が広がっている。上級資格の CFP® 資格においては、「不可欠」「人生」といったキーワードが象徴するように、資格が単なる仕事のツールを超え、自身の豊かな人生を設計するうえで必要なものとなっている。(図 4.5)

図3

Q. F P 資格の保有者として、仕事や私生活を含む全体的な観点から、この資格は有用だと思いますか。

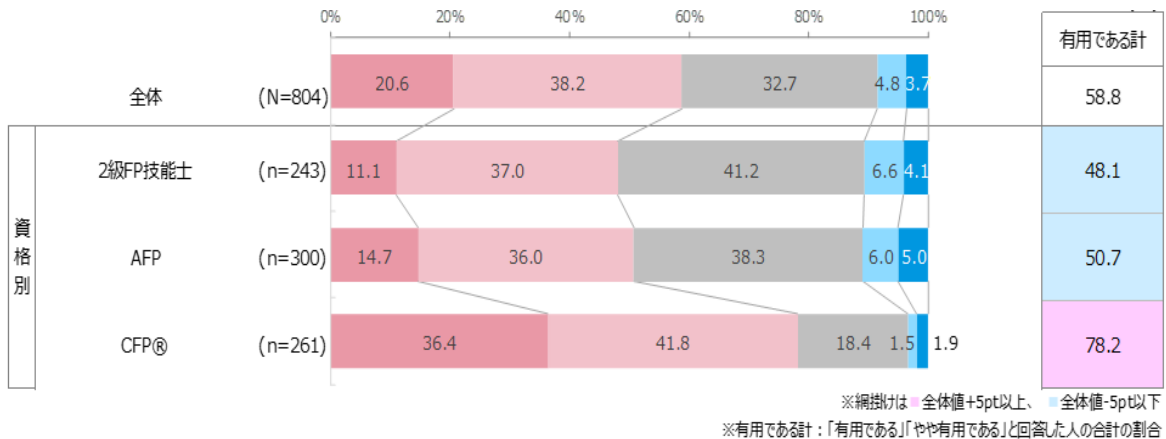


図4

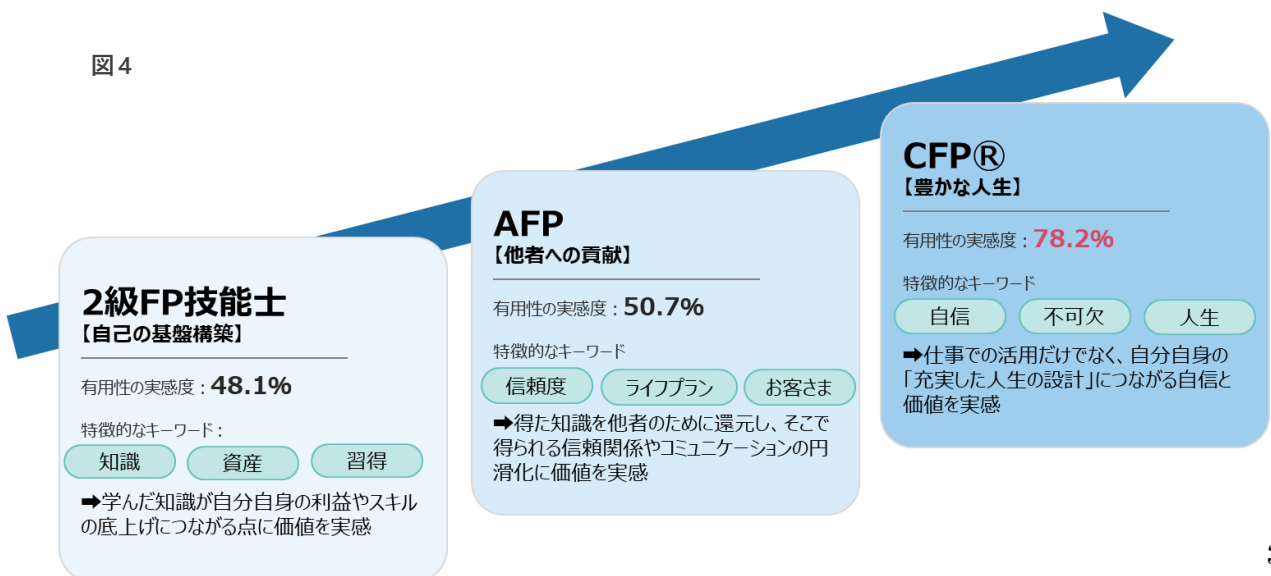


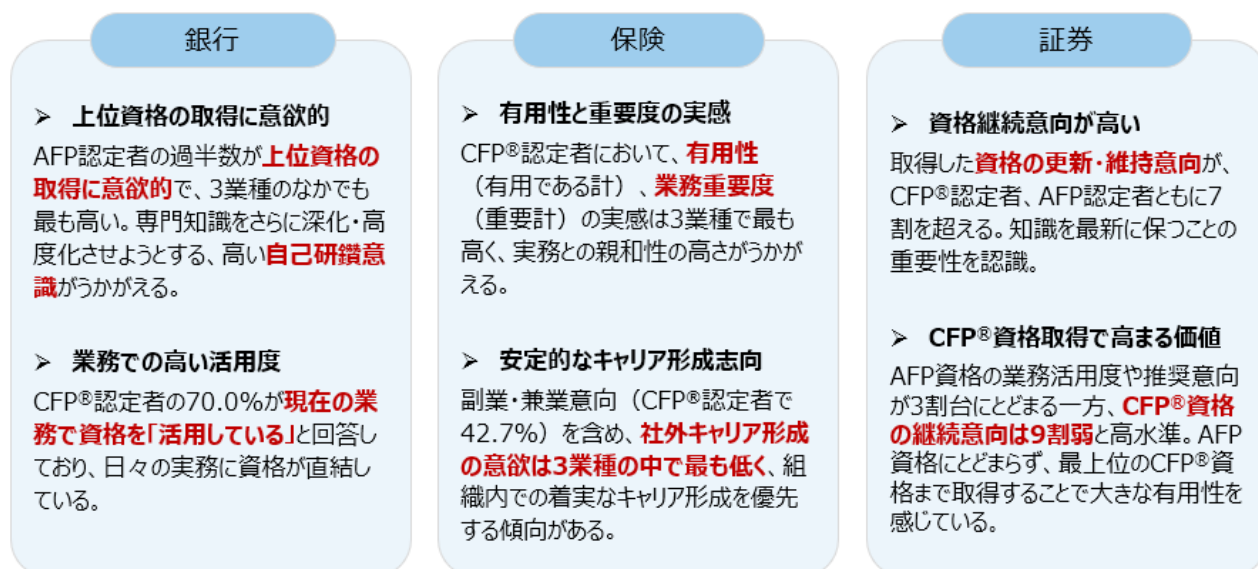
図5

	キーワード	自由回答内容	特徴
2級FP 技能士	知識	・自分自身の <b>知識の向上</b> につながるから（銀行・50代） ・ライフプランを考えることはすべての人にとって重要だと思うし、お金の <b>知識は大事</b> だと思うから（保険・20代）	 <b>【自己の基盤構築】</b> 学んだ知識が自分自身の利益やスキルの底上げにつながる点に価値
	資産	・金融知識も増えるし自分の <b>資産が増える</b> から（銀行・40代） ・ <b>資産を増やすための知識</b> が高まり、自分で商品を選び運用できるようになった（証券・40代）	
	習得	・最低限の金融リテラシーを <b>習得</b> できた（銀行・50代） ・幅広くファイナンシャル・プランニングに関する知識を <b>習得</b> できるため（証券・40代）	
AFP 資格	信頼度	・仕事の上で名刺に資格を記載することで <b>信頼度が上がっている</b> から（保険・50代） ・顧客からの <b>信頼度が増した</b> （証券・50代）	 <b>【他者への貢献】</b> 得た知識を他者のために還元し、そこで得られる信頼関係やコミュニケーションの円滑化に価値
	ライフプラン	・家族の <b>ライフプラン</b> を考える力を養える（保険・50代） ・ <b>ライフプラン</b> を立てることができ、人の話を聴く能力も身についた（銀行・50代）	
	お客さま	・ <b>お客さまに提案</b> する際に知識があることで自信を持てるし信頼される（保険・30代） ・ <b>お客さまとの会話</b> で、FPの知識を出し入れしながら、スムーズお話しができるのが良いと思います（保険・50代）	
CFP® 資格	自信	・FP資格の最高峰を保有していることに <b>自信をもって業務対応・顧客対応</b> に臨める。またそれに対して <b>努力した自分に自信</b> を持てる。（保険・40代） ・ <b>対外的な信頼を得やすい自分に自信</b> が付き、継続で知識を維持、向上させる習慣がついた（保険・50代）	 <b>【豊かな人生】</b> 仕事での活用に加えて、自分自身の「充実した人生の設計」につながる点に価値
	不可欠	・生活していく上で <b>必要不可欠な知識</b> を得られる（保険・50代） ・FP知識は金融などの仕事だけでなく、人生設計の基本で、 <b>人生をより豊かに生きるために不可欠</b> と思っているため（保険・50代）	
	人生	・CFP資格が <b>自分の人生を変えた</b> ともいえる良い変化を自分にもたらしたから（証券・50代） ・ <b>充実した人生の設計</b> が可能になるため（証券・50代）	

### Topic3 業種で異なるFP資格活用状況

- 金融機関（銀行・保険・証券）において、FP資格の活用状況や資格に対する意識に業種ごとの特徴がみられた。（図6）
- 特にCFP®資格については資格のとらえ方や、資格を通じたキャリア形成の方向性に違いが表れている。

図6

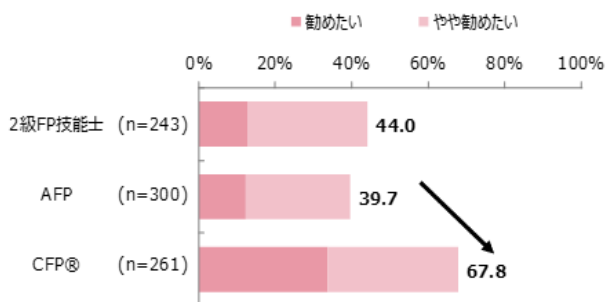


#### Topic4 FP 資格取得者の FP 資格推奨度と、会社の FP 資格取得支援のギャップ

- CFP®資格の推奨意向は 67.8%と突出して高く、2 級 FP 技能士や AFP 資格を大きく上回る。(図 7)
- 企業の資格取得奨励度は、2 級 FP 技能士の取得が 70.8%と最も推奨されており、実務のベースラインの形成が重視されている。(図 8)
- 企業側が基礎資格の取得支援にとどまらず、上位資格への取得支援を強化することで、業務面でのポジティブな効果を生むことが期待できる。

図 7

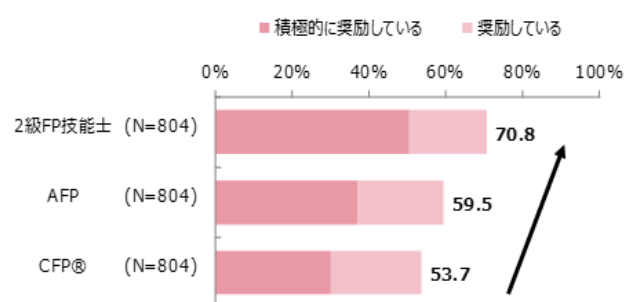
Q. あなたは F P 資格について、持っていない同僚や友人に取得を勧めたいですか。



※直近の各資格保有者のみが回答する、実務を通じた推奨意向

図 8

Q. あなたの会社では、社員に対して以下の F P 資格の取得をそれぞれの程度奨励していますか。



※全回答者 (N=804) から見た、会社が求める資格の認識

#### <調査概要>

- ・調査タイトル: 金融機関勤務者の FP 資格活用実態調査
- ・調査方法 : インターネット調査
- ・調査対象 : 20 代から 50 代の金融機関(銀行・証券・保険)従事者  
かつ FP 資格(CFP®資格、AFP 資格、2 級 FP 技能士)保有者
- ・調査期間 : 2026 年 1 月 16 日~2 月 12 日
- ・回収数 : 804 サンプル